

れきはく NEWS

島根県立古代出雲歴史博物館の
旬な話題や情報をお届けします

vol.63
2025.NOV

Shimane Museum of Ancient Izumo

CONTENTS

- 2 古代出雲歴史博物館のリニューアルオープン
に向けた工事の紹介
- 4 ボランティア通信／学芸員通信
- 5 学芸員が語る！ミュージアム講座／
古代文化センター通信
- 6 アテンダント通信
- 7 アテンダント通信／日比谷しほね館で「出雲れきはく
ワークショップ」を開催しました
- 8 イベントのお知らせ



本館東側(竣工時)



体験工房(竣工時)

古代出雲歴史博物館のリニューアル

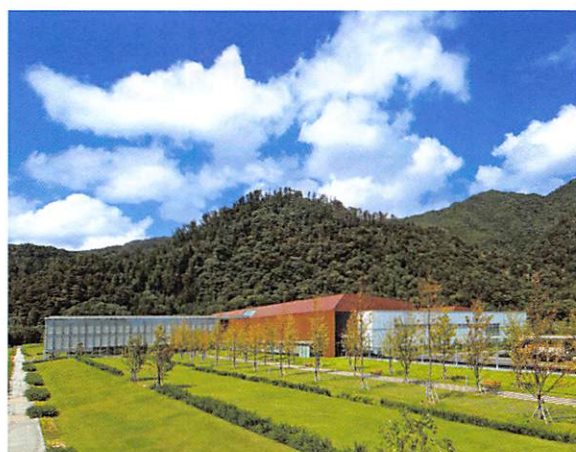
2007年に開館した古代出雲歴史博物館は、施設の経年劣化が進んでいました。また、東日本大震災を受けて改正された建築基準法により、エントランスホールや展示室中央ロビーの天井耐震改修工事が必要な状況でした。

これらを踏まえて、古代出雲歴史博物館は今年の4月1日から令和8年9月末(予定)まで休館し、天井耐震改修、外壁劣化補修、設備機器の整備を行い、リニューアルオープンに向けて準備しているところです。今回はエントランスホールの天井耐震改修工事と東面の外壁改修工事について紹介します。

【天井耐震改修工事(エントランスホール)】

当館は出雲大社の参道東側に位置し、北山山系を背景に建築されており、ガラス張りのエントランスホールの3階展望フロアから一望できる建物となっています。

天井耐震改修には、既存天井材と建物構造を一体化する方法と天井材を変更して軽量化する方法等があります。エントランスホールはガラス張りとの金属パネルで構成された透明感のある空間が特徴であることから、意匠が変わらないように既存天井材の金属パネルを再使用し、建物構造と天井を一体化する方法を採用して工事しております。



建築物全景(設計:横総合計画事務所)



展望フロアを包み込むガラスのエントランスホール

既存天井
(着工前)



既存天井材
一時取外し



建物構造へ
耐震補強部材の
溶接補強



天井再取付
(完了)



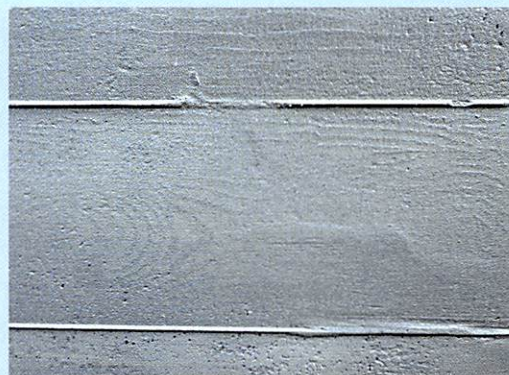
オープンに向けた工事の紹介

川本航平 | 島根県東部県民センター出雲事務所 古代出雲歴史博物館改修工事 監督員

【外壁改修工事】

外壁改修工事では東側のコンクリート打放し面の部分を改修しています。コンクリート打設時に使用した杉板型枠の木目が特徴的な壁となっており、景観を保つためにひび割れ等の補修後は特殊な工法で木目を再現しています。

改修完了後



劣化改修後、木目のデザインを
損なわないように特殊な工法により木目を再現

また、今回工事はしていませんが、建物西面は本建物の特徴であるコールテン鋼と呼ばれる鉄材の外壁となっています。これは島根の歴史上重要な「たたら製鉄」をイメージしており、建設当初から20年ほど経過した現在、経年変化による自然な風合がでており、北山山系との調和がとれた佇まいになっておりますので、展示品を鑑賞するのに訪れた際にぜひ、意識して見ていただければと思います。



西側コールテン鋼

休館中のボランティア活動

休館中の現在、展示解説を主な活動としているボランティアスタッフの皆さんがどのような活動を行っているかをご紹介します。

活動のひとつは、月に一度開催する研修会です。まが玉作りや藍染めなど当館で行っている普及活動をあらためて学び直したり、当館学芸員を講師とした講演会を開催したりしています。さらに、講演会で学んだ内容をより深く理解するために視察研修も実施しています。これまで実施した研修内容をご紹介しますと、5月の研修では広島県備後北部地域の埋蔵文化財に関する講演会を実施し、翌6月の研修では、みよし風土記の丘（広島県三次市）、佐田谷・佐田峠墳墓群、帝釈峡博物館・時悠館（同県庄原市）などを、現地のボランティアスタッフや学芸員の解説付きで視察しました。事前研修を踏まえたうえでの現地視察は皆さん学ぶところも多かったようで、充実した研修になりました。今後も県内はじめ近隣地域の視察を含めて、さまざまな研修を企画しているとこです。

このほか、当館では休館中も多くの学校団体にご利用いただいていますので、まが玉作りや藍染め、古代米

の田植えや稲刈りなどの普及活動には継続してお手伝いをいただいています。

古代出雲歴史博物館では、一緒に活動していただけるボランティアスタッフを募集しています。ご興味のある方は、古代出雲歴史博物館のボランティアスタッフ担当（藤原・今岡、電話0853-53-8604）までご連絡ください。

交流普及スタッフ 藤原宏夫



学芸員の解説付きで遺跡を見学しました。



普段は展示解説を行っているスタッフも藍染めを体験しました。

学芸員通信

（休館中ですが…）“館蔵品”を御覧ください

リニューアルオープンまであと1年の当館ですが、所蔵品を貸し出していますので、他の博物館で開催される展覧会でそれらを御覧いただけます。

たとえば、松江歴史館で開催中の特別展「慶長の城ー松江城築城とその時代ー」では、当館が所蔵する文禄石州丁銀と慶長丁銀の計2点が展示されています。同展は堀尾氏の支配の始まりと松江城築城の歴史を紹介するもので、会場では、国宝松江城ゆかりの棟札や古文書・絵図が目玉で、二つの丁銀はシルバーの強い輝きを放っています。

文禄石州丁銀は、表面に施された極印に「石州（石見国）銀 文禄二 卯月日」の文字が入るただ一種類の貨幣で、文禄2年（1593）に石見銀山で産出した銀でつくられたことがわかり、貴重です。

慶長丁銀は慶長6年（1601）から元禄8年（1695）まで鋳造され、表面に大黒天の極印がある銀の貨幣です。この慶長丁銀は当館の常設展で普段展示をしていますが

るので、初めて御覧になる方が多いかもしれません。

当館所蔵品がどの博物館の、どの展覧会で見られるか、その情報はSNSに随時投稿しています。ぜひ、チェックしてみてください。

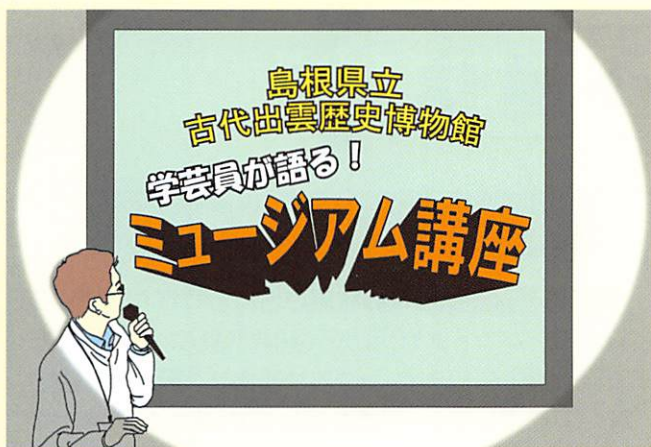
学芸情報課 目次謙一



文禄石州丁銀



慶長丁銀



当館の学芸員が、島根県の歴史・文化についてわかりやすく解説する月1回の連続講座です。

現在、12月～1月までの講座の受講者を募集しています。初心者の方でもお楽しみいただける内容となっておりますので、ぜひご参加ください。

開催日 令和7年度毎月第2日曜日

定員 各回60名 **時間** 10:00～11:30

申し込み 電話またはホームページのイベント参加フォーム(しまね電子申請)でお申し込みください。

【申し込み先】 TEL.0853-53-8600
<https://www.izm.ed.jp>

受講者募集中

第7回
12月14日(日)

隠岐の戦国時代

専門学芸員 倉恒康一

中世の隠岐と聞くと、鎌倉時代に隠岐に流された二人の天皇を思い浮かべる方が多いと思います。しかし今回は、戦国時代を中心とした隠岐の政治・経済・文化を、主に古文書を活用して解説します。出雲、石見とは一味違う中世の隠岐の歴史をお楽しみください。

第8回
1月11日(日)

安来市富田城下町を考える
—発掘調査の成果から—

学芸部長 守岡正司

山陰を代表する山城の1つである富田城の麓には「幻の城下町」といわれた富田川河床遺跡などが存在し、遺跡からは街並みや豊富な出土品が発見されています。近年の研究の成果によりその実情を紹介します。

今後の開催スケジュール

第9回
2月8日(日)

日本三大そば・出雲そばの歴史と、
将軍家への献上品

専門学芸員 岡 宏三

第10回
3月8日(日)

県外に伝わった石見神楽

専門学芸員 藤原宏夫

古代文化センター通信

◎古代歴史文化協議会第4期共同研究がスタートしました

古代歴史文化協議会では、個々の地域的な研究だけでは見えにくかった日本の大きな古代史の流れを解明するため、古代歴史文化にゆかりの深い地域で連携し、平成26年度から共同調査研究を進めています。島根県も古代歴史文化協議会に参画し、古代文化センターを中心として研究を行っています。これまで、第1期に「古墳時代の玉類」、第2期に「古墳時代の刀剣類」、第3期に「古墳時代の中央と地域」をテーマとした共同研究を実施しており、その成果については展覧会や講演会、成果図書の刊行をととして公開しています。

令和7年度から、「古墳時代の地域間交流」をテーマとして埼玉県、和歌山県、岡山県、鳥取県、島根県、佐賀県、宮崎県の7県の連携で第4期の共同研究を開始しています。古墳時代の地域間交流については、副葬品の配布などといった大和王権が関与する政治的関係の強いものだけでなく、日常用の土器の移動などの政治的関係の弱いものも確認できます。また、大陸などの海を越えた遠隔地との交流など、非常に複雑な様相を示しています。今後、3か年で構成県による研究をす

すめ、交流の内容・背景、そしてその歴史的意味について迫っていきます。

研究の成果については講演会などで広く公開を行う予定としています。今年度は和歌山県で実施した講演会の様子を動画で公開することとしています。どうぞご期待ください。

古代歴史文化協議会の活動については、ホームページ(<https://kodairekibunkyo.jp>)で公開しております。そちらもご覧ください。

古代文化センター 今福拓哉



和歌山県で実施した研究集会(令和7年8月7日開催)の様子。
 大阪大学名誉教授福永伸哉氏に古墳時代の地域間交流について基調講演を行っていただきました。基調講演の後は構成県の研究報告を行いました。

アテンダント通信

四国視察研修の様子

8月、徳島県の大塚国際美術館に日帰り視察研修に行きました。陶板で原寸大に再現された世界中の名画、約1,000点が一度に、しかも間近で見ることができ、終始圧倒されました。パチカン宮殿にあるシスティーナ礼拝堂の天井画と壁画が再現されたホールでは、その精巧な絵画とダイナミックな空間にため息しか出ませんでした(写真)。絵画の鑑賞はもちろんですが、団体のお客様へのスムーズな対応やインバンウンド対応、誰もが鑑賞をより楽しめるサービスなど勉強になるところがたくさんあり、充実した視察研修となりました。



アテンダントミニイベント

毎月第3日曜日、しまね家庭の日に合わせて開催しているミニイベント♪10月からは神門通りにちなんだ紙芝居を披露しています。かつて神門通りで行われていた「富くじ」を模したくじ引きも行います。また10年前、神門通り100周年の節目にアテンダントが制作した「神門通り絵巻」の原画を展示しています。普段は神門通りにパネルにしたものが置かれていますが、ぜひこの機会に繊細で緻密な原画の美しさをご覧ください。

次回開催 12月21日(日)10:00~15:00



幼保園訪問の様子

夏休みの児童クラブワークショップに続き、秋は市内の幼稚園・保育園を訪問してワークショップを行っています。紙芝居のほか、博物館のマスコットキャラクター雲太くんも登場し、子ども達と一緒に「雲太くん体操」をして元気いっぱい身体を動かしました。勾玉ネックレスづくりでは、カラフルな可愛い勾玉ネックレスが出来上がりみんな大喜びでした♪子どもたちの嬉しそうな笑顔がたくさん見られて、私たちアテンダントもほっこりしました♡



一畑電車ガイドに挑戦

貸切電車に乗車されたお客様に、一畑電車の歴史や特徴・沿線の見どころなどを紹介する電車ガイドに挑戦しました。アテンダントならではの目線で島根や出雲についての観光案内を取り入れ、お客様に楽しんでいただけるガイドを目指しました。斐伊川とヤマタノオロチを絡めた話や大社地域のぶどう畑の紹介には、皆さま「ほお～」と頷きながら聞いてくださいました。もちろん、歴博の



紹介もしっかりさせていただきました!

情報・SNS グループの活動

情報交流室での観光案内や SNS での情報発信をしているチームです。Instagram や X などへの投稿では、馬のハニワ「石やん」（実際に乗れるハニワが館内にいます!）のぬいぐるみを手作りし、アテンダント目線での親しみやすい投稿をしています（写真左）。また一畑電車出雲大社前駅構内のサテライトギャラリーを多くの人に楽しんでほしいという思いから飾り付けを行ったり、休館中も博物館が利用できることを知ってもらおうと、楽しいチョークアートを制作したりしました。ぜひ駅に立ち寄って見てください。（写真中央、右）



11月1日～3日に、日比谷しまね館で「出雲れきはくワークショップ」を開催しました

7月のKITTE大阪に続き、日比谷しまね館でPRイベントを行いました。大阪でも人気だった「青銅器の復元品に触れてみよう」のコーナーは、今回もお客様の驚きと感動の声を多く聞くことができました。学芸員の解説を交えての体験でしたので、詳しく青銅器のことを知ることで、古代出雲のなぞと不思議を体感していただけたのではないかと思います。

「銅鐸トートバッグづくり」や「和本風メモ帳づくり」も大盛況で、たくさんのお客様が参加され楽しんでいただきました。「和本風メモ帳づくり」は様々なデザインの表紙の中からお選びいただけますが、今回は、現在放送中のNHK連続テレビ小説「ばけげん」デザインの表紙も準備したり、店内には「ばけげん」にちなんだディスプレイや商品も陳列されるなど、手に取ってご覧になるお客様の様子から朝ドラへの関心の高さが伺えました。

カフェスペースでは、「古墳ゼリー」や「古墳カレー」も提供され、この3日間は古代出雲を感じていただける時間になったのではないかと思います。

お立ち寄りいただきました皆さま、ありがとうございました。

次回は、来年1月10日～12日に名古屋中日ビルでイベントを予定しております。第3弾のPRイベントもお楽しみに!



イベントスケジュール

今後開催予定のイベントをお知らせします。
天候等の都合により内容の変更、中止になる場合があります。

12/14(日) 第7回学芸員が語る!ミュージアム講座
「隠岐の戦国時代」講師:専門学芸員 倉恒康一

12/21(日) れきはくミニイベント 楽しい「紙芝居」に何が当たるかお楽しみの「富くじ」、
「神門通り物語」 「ポチ袋作り」の工作コーナーもあるよ!

令和8年

1/1(木) れきはく新年まつり たこあげ、はねつき、コマまわしなどのお正月
~3(土) 遊びを楽しもう!

1/11(日) 第8回学芸員が語る!ミュージアム講座
「安来市富田城下町を考える ―発掘調査の成果から―」
講師:学芸部長 守岡正司

2/8(日) 第9回学芸員が語る!ミュージアム講座
「日本三大そば・出雲そばの歴史と、将軍家への献上品」
講師:専門学芸員 岡 宏三

3/8(日) 第10回学芸員が語る!ミュージアム講座
「県外に伝わった石見神楽」講師:専門学芸員 藤原宏夫

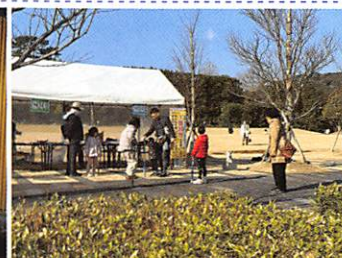
3/15(日) 開館記念イベント 「紙芝居」や工作コーナー「つくってあそぼ」、「ダン
「れきはくであそぼ」 ボール迷路」など楽しい催し盛りだくさん!
※内容は予定です。決定次第、ホームページ等でお知らせします



学芸員が語る!ミュージアム講座



れきはくミニイベント



れきはく新年まつり



開館記念イベント「れきはくであそぼ」

【イベントに関するお問合せは、古代出雲歴史博物館 TEL.0853-53-8600まで】

リニューアル オープン 令和8年10月(予定)

開催
決定!

リニューアル記念 特別展 「その後のヲロチとスサノヲ」

【会期】令和8年10月9日【金】~11月29日【日】(予定)

※ 詳しい日時等は決定次第ホームページ等でお知らせいたします。



島根県立古代出雲歴史博物館
Shimane Museum of Ancient Izumo

〒699-0701 島根県出雲市大社町杵築東99-4
TEL.0853-53-8600代 FAX.0853-53-5350
[URL] <https://www.izm.ed.jp> [E-mail] contact@izm.ed.jp
令和7(2025)年4月1日~令和8(2026)年9月(予定)の間、
耐震改修工事等のため休館



マスコットキャラクター
雲太くん



発行/令和7年11月



マスコットキャラクター
出雲ちゃん